

英語科学習指導案

令和元年11月11日(月) 第5校時(13:55~14:45)

〇〇中学校 3年〇組(コミュニティーホール)

指導者 T1: T2: ALT:

I 題材名 Unit 6: Striving for a Better World (NEW HORIZON / English Course 3)

II 学習指導要領上の位置付け

[知識及び技能]

エ 文、文構造及び文法事項

(ウ) 文法事項 a 代名詞

(b) 関係代名詞のうち、主格のthat, which, who, 目的格のthat, whichの制限的用法

[思考力、判断力、表現力等]

イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたりよんだりしてえられた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりしてお互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

[言語活動に関する事項]

ウ 読むこと

(ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。

オ 話すこと [発表]

(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。

カ 書くこと

(エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。

III 目標

ア (知識・技能)

・接触節や関係代名詞who, which, thatの用法を理解し、それを用いて人や物について詳しく説明することができる。

・アウンサンスーチーについて読み、要約する学習を通して、新出表現を用いて人物紹介をすることができる。

イ (思考力・判断力・表現力等)

・ALTの先生のために尊敬できる日本人を紹介する活動を通して、伝える内容を充実させたり、整理させたりして、まとまりのある文章で発表することができる。

ウ (学びに向かう力・人間性等)

・自分が尊敬する日本人をALTの先生に紹介する上で、聞き手を意識して内容面を充実させようと工夫することができる。

・いろいろな日本人の偉業を知ることによって、国際社会に生きる人間として自国に誇りをもてるようになる。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (1/10)

- 1 **ねらい** 有名な日本人について、ペアで伝え合う活動を通して、人や物について詳しい情報を加えるためには、どのような表現が必要なのか、学習の見通しをもたせる。

2 展開

学習活動 (分) ○ : 留意点 点線囲 : 評価 ☆ : 振り返りの子供の意識

1 あいさつ・帯活動をする (5分)

- (1) ペアで Chatter Box をする。
(2) 後置修飾を用いた人物当てゲームをする。

2 本時のめあてをつかむ (10分)

- (1) ALT の Teacher's Talk を聞く。(Topic : "Japanese people I respect!")

Profile	: name, job, how old
Other Information	: When do you know the person? How do you know the person? What is his/her wonderful point?

- (2) 単元の課題を知る。

単元の課題	自分が尊敬する日本人について、マーク先生に紹介しよう。
-------	-----------------------------

- (3) 本時のめあてをつかむ。

本時のめあて	有名な日本人について伝え合おう。
--------	------------------

- テレビ番組の例を用いて、国内外で日本人が活躍していることに気づかせる。
- 尊敬している日本人について ALT が話し、本単元のゴールをイメージさせる。
- ALT が色々な日本人について知りたい旨を伝え、単元の課題を理解させる。
- 有名な日本人についてペアで話し合わせ、様々な分野で活躍する日本人がいることに気づかせる。

3 有名な日本人について、ペアで伝え合う (20分)

- ペア活動を 2 回行い、伝えたい内容や、その表現方法を充実させる。
- 話した内容を書く活動は、メモ程度に抑えるよう伝える。
- 情報に自信がなくても、“maybe” や “I'm not sure, but”, “I think” などを用いれば表現できることを伝え、できるだけ多くの情報を提供できるようにする。
- ペアワークにおいて、様々な情報を聞き出すために相槌や質問をするよう助言する。
- “Other Information” である、自分との関わりも紹介してみるよう ALT から助言する。

評価	既習表現を用いて、有名な日本人について伝えようとしている。
----	-------------------------------

4 活動の振り返りをする (10分)

- 伝えられた内容、伝えなかったことをワークシートに書かせる。
- 伝え合う活動をした感想を書かせ、自身の課題を見つけさせる。
- 数名に発表させ、クラス全体で課題を確認する。

5 本時のまとめ・振り返りをする (5分)

- ALT が説明に役立つ新出表現の一部を教える。
- 課題解決に向けて、今後の学習に取り組むことを伝える。
- 最後の大きなプレゼンテーションになることを伝え、単元の課題に意欲をもたせる。

☆ 中 1 レベルの説明になってしまった。

☆ 後置修飾は使えたが、違う説明の仕方も習得していきたい。

☆ 3 年間の集大成として、尊敬する日本人についてしっかり紹介したい。

V 本時の展開 (5/10)

1 **ねらい** アウンサンスーチーについて読み、グループでわかったことを簡潔に書く活動を通して、要約する力を養う。

2 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子供の意識
1 あいさつ・帯活動をする (5分) (1)ペアでChatter Boxをする。 (2)Talk & Talkを使って関係代名詞を練習する。			
2 Small Talkをする (3分) ○知っている外国人の有名人について話をさせる。 ○質問や相づちなどをするよう助言する。			
3 本時のめあてをつかむ (5分) ○「ノーベル平和賞」「軟禁」などの言葉からどんなことをイメージするか聞き、本文に興味をもたせる。 ○本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本時のめあて アウンサンスーチーさんについて、年代ごとに要約してみよう。</div>			
4 本文を読み込む (5分) ○新出単語を確認する。 ○黙読 → 音読 (by yourself) → 音読 (repeat after ALT) の順で本文を読み込む。			
5 本文の内容を理解する (20分) ○3つの年代を把握する。 ○1つずつ個人でまとめる時間をとる。 (手が止まっていたら、キーワード・キーフレーズを探させる。) ○グループで意味を確認しながら、段落ごとにまとめて書かせる。 ○意味が取りにくい文は、全体で確認する時間をとる。			
4 活動の振り返りをする (10分) ○グループごとに発表させる。 ○共通して取り上げたところに印をつけて、メインの出来事を共通理解する。 ○クラスの意見を取り入れて、アウンサンスーチーの年表を作る。 ○良いまとめ方について取り上げ、共通理解させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">評価 アウンサンスーチーの人生について簡潔に要約することができている。</div>			
5 本時のまとめ・振り返りをする (2分) ○もう一度音読する。 ○次回は、アウンサンスーチーさんのプライベートについて読むことを伝える。 ☆どの文も重要に思えて、短くまとめるのは難しかった。 ☆グループでまとめたことで、意味がわからなかった文を理解することができた。 ☆アウンサンスーチーさんに起こった出来事を知ることができた。			

V 本時の展開 (8/10)

1 **ねらい** 自分が尊敬する日本人についてメモをもとにペアで伝え合い、質問し合う活動を通して、自分の発表内容を充実させる。

2 展開

学習活動(分) ○:留意点 点線囲:評価 ☆:振り返りの子供の意識

1 あいさつ・帯活動をする(5分)

- (1)ペアでChatter Boxをする。
- (2)Talk & Talkを使って関係代名詞を練習する。

2 本時のめあてをつかむ(10分)

- ALTが最初に示したモデル文や、前時でまとめたアウンサンスーチーの紹介文を提示し、どんなことが書いてあるかを確認する。
- 本時のめあてをつかむ。

本時のめあて 自分が尊敬する日本人について、紹介する内容を充実させよう。

3 尊敬する日本人について、紹介する内容を考える(20分)

- ペア活動(1回目)をする。
 - ・話し手:その人物について知っていることを相手に伝える。
 - ・聞き手:聞いたことを相手のワークシートにメモをとる。→相手に紙を返す。
- 全体で良い表現を共有する。
- 相手を換えてペア活動(2回目)をする。
 - ・話し手:一通り伝えた後で、聞き手の質問に答える。→質問されたことをメモする。
 - ・聞き手:一通り聞き、メモをとった後に、話し手に質問をする。
- 相手を換えてペア活動(3回目)をする。(フリートーク)
- 内容が広がらないようなら、モデル文の視点に戻り、内容の充実を図る。
- 状況に応じて、質問シートを提示する。

4 活動の振り返りをする(10分)

- 数名に発表させ、クラス全体で良い点、課題を確認する。
- どんな質問をしたか共有し、足りない情報をメモに補足させる。
- メモをもとに、できるだけまとまりのある文章で紹介文を書かせる。
- 生徒が書いた見えそうな表現を全体で共有する。

評価 既習表現を用いて、尊敬する日本人について伝えようとしている。

5 本時のまとめ・振り返りをする(5分)

- 感想を書かせる。
- 次回は、プレゼンテーションに適した表現を加えることを伝える。
- 最後の発表に向けて、しっかり準備して臨むことを伝える。

- ☆ペアで質問し合うことで、発表内容を充実させることができた。
- ☆人物について知らないところがあるので調べていきたい。
- ☆言えなかったり、書けなかったりした表現があったので、自分で確認したり、友達や先生に聞いたりして書き留めておきたい。